



# 川越

No. 850  
平成6年11月10日

■かわごえ都市景観表彰	2
■市立図書館10周年	5
■市長への提案から	5
■総合計画シンポジウム	6
■秋の全国火災予防運動	15
■表通り裏通りの川越まつり'94	18

川越景観百選◎・市立図書館







都市景観デザイン賞  
近長商店  
幸町6-10

### 素材を生かした店舗の心づかい

伝統的な町並みの中心に位置する建物を特別な手法を用いずに改修。空調機を看板の後ろに隠したり、道案内の絵図を商店として重要な角に配置したりするなどの配慮でまちの景観に大きく寄与し、この建物が持っている本来の魅力を引き出しています。

- 建築主 近長商店
- 設計 醸ZY0 建築研究所
- 施工 近大滝建設

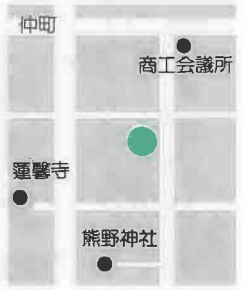


都市景観デザイン賞  
長喜院  
幸町5-7

### 門前と境内の一体的広場空間

一番街から長喜院門前を通り養寿院の門前まで、敷石を尊重して行った市施工道路整備のコンセプトを生かし、一体化を計った境内の整備を行っています。こうしたプロセスは都市景観を形成していくうえで、極めて好ましい事例といえます。

- 建築主 冷月山長喜院
- 設計 吉崎建築研究所・水村設計事務所
- 施工 出水工務店・矢島工業・深田造園



都市景観ポイント賞  
小松屋製菓  
連雀町11-8

### 銀座通りからのアピール

看板とアーケードで隠されていた蔵造りを前面に表し、歴史と風格がよみがえりました。そこで壁の大谷石を再生し、休憩所の壁としていることも、改修の成功に貢献しています。

- 建築主 小松屋製菓
- 設計 第一設計事務所
- 施工 共和木材㈱



都市景観ポイント賞  
福呂屋  
幸町15-1

### 時の鐘とのハーモニー

「時の鐘」に隣接する建物であることを考慮し、蔵造り風のデザインを採用して改修。川越のシンボルと協調する景観としてなじんでいくものになると思われます。

- 建築主 福呂屋
- 設計 創美㈱
- 施工 創美㈱



第2回小江戸川越景観賞(景観賞)を受賞した「陶舗やまわ」(写真右手)、平成4年度かわごえ都市景観表彰(ポイント賞)を受賞した「亀屋栄泉」(写真左手)、平成6年度かわごえ都市景観表彰(デザイン賞)を受賞した「長喜院門前」(写真奥)の連なりによって味わい深い空間が広がります。

知らないまちに意識の中に入ってくる景観があります。ほかの人が「いい景観ね」って話しているのを聞くと自分のものじゃなくても心が和んでうれしくなります。「みんなのもの」って言ったらしかられちゃうかなあ？って思っていてやましくなる。まてきな景観をありがとう。

### 決定!

平成6年度

## かわごえ都市景観表彰

「かわごえ都市景観表彰」は、歴史と伝統を持つ川越の景観に調和し、今後の都市景観を形成していくうえで、その先駆または象徴と考えられる構築物に対して贈られるものです。表彰は「都市景観デザイン賞」と「都市景観ポイント賞」があり、二年に一度実施されます。今年度は、四十五件の応募があり、重複または未実施などの理由によって無効となった八件を除いた三十七件の対象について審査が行われました。

審査は、これまでの十人の審査員からなる「川越都市景観表彰審査委員会」の現地審査などに加え、今回、初めて導入された一般投票の「まちかど審査会」によって行われました。

### 都市景観デザイン賞

空間を構成する素材すべてにバランスがとれ、新しい試みや工夫が盛り込まれ、景観づくりに対する規範となるもの。

### 都市景観ポイント賞

景観をつくりだすさまざまな具象的・抽象的要素(ポイント)についての規範となるもの。

問い合わせ：都市計画課都市景観係 係内線3215

## まちかど審査会

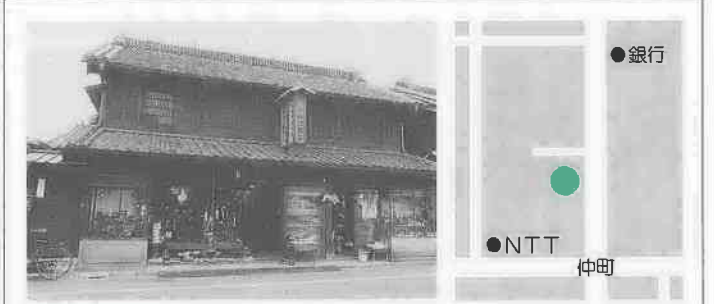
平成6年度の川越市都市景観表彰では、市民の方からご意見を伺い、選考に役立てる「まちかど審査会」を実施しました。同審査会は、十月三日と四日が西武本川越駅べ前広場、五日と六日が川越駅アトレ前デッキで行われ、合計五百二十一人の方から投票をいただきました。

\*11~97は得票順とは関係ありません。

### まちかど審査会得票一覧

- |    |               |      |
|----|---------------|------|
| 1  | 福呂屋           | 156票 |
| 2  | 特急小江戸号        | 105票 |
| 3  | 長喜院           | 104票 |
| 4  | 延命寺           | 101票 |
| 5  | リバーサイド吉番館集会所  | 94票  |
| 6  | 小松屋           | 91票  |
| 7  | 荻野金物店         | 85票  |
| 8  | 近長八百屋店        | 81票  |
| 9  | 甘味処春日         | 80票  |
| 10 | 寿庵            | 61票  |
| 11 | 加藤製菓          | 52票  |
| 12 | スパゲティの店ピノキオ   |      |
| 13 | 元町一丁目山車小屋     |      |
| 14 | 喜多町自治会館       |      |
| 15 | 霞ヶ関カンツリークラブ   |      |
| 16 | ハマフラワー        |      |
| 17 | 吉興            |      |
| 18 | 清水邸           |      |
| 19 | 川越西郵便局        |      |
| 20 | 白石商店看板        |      |
| 21 | コカコーラ自動販売機    |      |
| 22 | 齊タバコ店         |      |
| 23 | ニュー東京堂        |      |
| 24 | 羽深邸           |      |
| 25 | アーベイン川越ブレイジュ  |      |
| 26 | 城北高校食堂棟       |      |
| 27 | メリディアンガーデン雪月花 |      |
| 28 | 新富町街頭フラッグ     |      |
| 29 | 岸野胃腸科クリニック    |      |
| 30 | 鹿倉邸           |      |
| 31 | 市進予備校         |      |
| 32 | ミニストップ本川越     |      |
| 33 | 中山歯科医院        |      |
| 34 | 川越パークホームズ     |      |
| 35 | 自然食品の店        |      |
| 36 | セントラル自動車販売    |      |
| 37 | パーソナルアベニュー川越  |      |



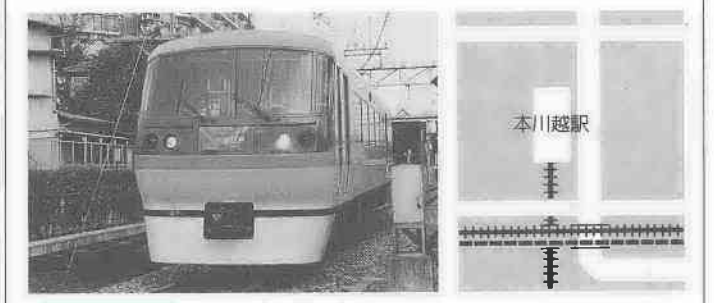


都市景観ポイント賞 荻野金物店 幸町1-1

### ディスプレイの視覚効果

間口の広い町屋の片方にあるショーウィンドーを同じデザインで他方に設け、店頭の訴求力向上を図りました。ディスプレイもショッピングする人たちの関心を増しています。

- 建築主 荻野金物店
- 設計 温井亨
- 施工 津々原工務店・大東美研



都市景観ポイント賞 小江戸号 レッドアロー10000系

### 小江戸へいざなう快適特急

西武新宿線本川越駅の拡張に伴って、特急レッドアローに新デザインが加わりました。ハイセンスなカラーコーディネートによって旅気分を満喫できることでしょう。

- 建築主 西武鉄道㈱
- 設計 西武鉄道㈱
- 施工 ㈱日立製作所

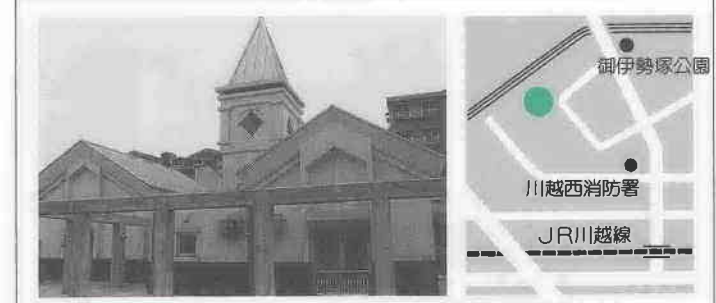


都市景観ポイント賞 メリディアンガーデン雪月花 上野田町17-1

### ファッショナブルな共同住宅

3層の伸びやかな立面と、彩度と明度を抑えた薄茶色のタイルが快い雰囲気を作り出しています。自然石や緑の配置が巧みになされ、道行く人にも好感を与えています。

- 建築主 柳沢恒男
- 設計 コスモアーキテクトデザインオフィス・㈱サーリース
- 施工 近藤建設㈱



都市景観ポイント賞 リバーサイド吾番街集会所管理事務所 伊勢原町5-5-7

### アメニティのシンボルゾーン

川越のアイデンティティを生かしながら団地集会所と貯水施設を演出。蔵造りのモチーフだけにとらわれず、塔のデザインを加え、個性的なものになっています。

- 建築主 住宅・都市整備公団関東支社
- 設計 住宅・都市整備公団関東支社
- 施工 大木建設㈱

### 川越市都市景観表彰 審査委員

相原 求一朗 画家

牛見 章 東洋大学工学部教授

関根 伸夫 彫刻家

名香 智子 漫画家

馬場 瑋造 建築評論家

福川 裕一 千葉大学工学部助教授

宗形 慧 写真家

恵 小百合 江戸川大学社会学部講師

関根 類千 商工会議所専務理事

村上 貞夫 川越市助役

### 都市景観シンポジウム まちづくり最前線

11月28日(月)午後1時30分～4時30分  
西武本川越へべホール・アトラス

優れたデザインや景観は、まちへの愛着や誇り、文化をはぐくみ、都市の資質を向上させます。都市景観・都市デザインを自治体の施策とする中で、まちづくりのプロセスに対するさまざまな試行錯誤が行われ、広く先見的な視野を持つ専門家の起用が目立っています。そこには、まさに文化的インパクトを与えようとする意図があります。今、何を考え、なそうとしているのか、実際に活動している専門家から話を伺い、まちづくりを考えます。

パネリスト  
馬場 瑋造 (建築評論家)  
八束 はじめ (建築家)  
堀池 秀人 (建築家)

# 図書館が「ゆとり」「ゆき」のあるまちづくりを知りました。

たくさんの人から愛されて10年、これからもよろしくお願ひします。

川越市立図書館は、大正4年に設立された「私立川越図書館」を前身として同7年に発足(当時は町立)しました。現在の三久保町に移転したのは昭和59年。赤レンガの外壁を持つ地上3階地下1階の図書館は、今年でちょうど10周年を迎え、多くの方に利用されています。平成5年度に貸し出した資料は、およそ834,369件。平成6年4月1日現在、所蔵する資料は486,451点(平成6年度3月31日現在)。利用登録者数は、およそ100,539人(同)となっています。

**川越市立図書館・開館10周年記念**  
**国際アンデルセン賞受賞図書・安野光雅原画 展示会**  
 11月15日(火)～20日(日)・午前9時30分～午後5時  
 \*20日は午後4時までです  
**国際アンデルセン賞受賞図書**

国際児童図書評議会(IBBY)によって創設された子どもの本の国際的な賞。作家賞と画家賞があり、世界中の児童文学の質の向上に計り知れない影響を与えています。「子どもの本のノーベル賞」とも言われ、日本の作家では赤羽末吉(1980年度)、安野光雅(1984年度)、まどみちお(1994年度)がそれぞれ画家賞を受賞しています。

**安野光雅**  
 絵本作家、洋画家、エッセイスト。幻想的な絵本や風景画で国際的に知られ、1977年にポーロニャ国際児童図書展グラフィック大賞、1979年に国際アンデルセン賞画家賞受賞。代表作は「ふしぎなえ」「旅の絵本」「空想工房」など多数。



リクエストの多い一般図書を紹介します。(10月1日現在)

● ワイルドスワン 上・下	75件
● マティソン郡の橋	67件
● FBI心理分析官	25件
● 大往生	21件
● 照柿	20件
● 南仏プロヴァンスの12か月	18件
● 朝の歌び 上・下	16件
● 幸福の手紙	12件
● 日本をダメにした九人の政治家	12件
● 日本一短い「母」への手紙	11件
● アムリタ 上・下	11件
● 神の拳 上・下	11件
● 耶律楚材 上・下	10件
● ユン・チアン	75件
● R・ウォラー	67件
● R・レスラー	25件
● 永六輔	21件
● 高村薫	20件
● P・メイル	18件
● 宮本輝	16件
● 内田康夫	12件
● 浜田幸一	12件
● 福井県丸岡町	11件
● 吉本ばなな	11件
● フォーサイス	11件
● 陳舜臣	10件

## 市長への提案から NO.10



川越市長 舟橋 功一

### 安全で住みよいまちづくりを進めます

今回は、市政懇談会でいただいたご意見を紹介します。

#### (提案要旨)

防犯灯の設置と修理の方法について教えてください。

#### (お答え)

市が設置している街路灯は、道路照明灯と防犯灯があります。道路照明灯は交通安全課が、防犯灯は青少年課が設置しています。

防犯灯の設置については、年度当初に各自治会から「防犯灯設置申込書」を提出していただき、審査のうえ順番に設置しています。

防犯灯が破損した場合の修理については「防犯灯修繕申込書」を提出していただいた時点で、市が負担して行っておりますが、蛍光管の交換などの維持管理については各自治会にお願いしているところです。なお、電気料については3分の2を市が補助し、残り3分の1を自治会に負担していただいています。

平成5年度の実績を見ますと、防犯灯の新設が約340か所、修理が約300件となっております。市内全体でおよそ15,200か所に設置済みとなりました。

私は、今後も自治会の申請に基づいて防犯灯を設置し、夜間の犯罪防止に努めるとともに、市民の皆さんが住みよいと感じられるようまちづくりを進め、安全な社会生活が保てるよう努力いたします。自治会をはじめ、市民の皆さんのご理解ご協力をお願いします。



# 21世紀への新しい故郷づくりを求めて



まち  
住む人が幸せを実感できるまちを実現するためには、計画的なまちづくりが欠かせません。昭和五十八年度に策定された川越市総合計画は、平成七年度に終了します。平成八年度からは、新たに策定される第二次川越市総合計画によってまちづくりが進められていくこととなります。

第二次総合計画の策定にあたり、本市にふさわしい二十一世紀のまちづくりについて、市民の皆さんとともに考えようと、十月二日(日)、西武本川越バ・ホール「アトラス」を会場に公開シンポジウムを開催しましたので、基調講演とシンポジウムの概要を紹介します。

また、パネル・ディスカッションの中で、出席された市民の皆さんから「市民参加」「地域に根ざしたまちづくり」「道路、駐車場、交通網の整備」「公共施設の整備、拡充」「公園、広場の整備」「計画的な行財政の執行」等、たくさん意見や要望が出されました。



川越市長 舟橋功一

## 新しい時代の総合計画

川越市は、これから新しい総合計画の策定をしていくところです。現在の総合計画は平成七年度で終了します。私が市長になりましたからの新しい総合計画が、いよいよスタートするわけです。

新しい時代がまいてきて、高齢化社会を迎え、家庭環境も変化しています。生活環境も大きく変わってきています。また、伝統があり、文化財の多いこの川越ですが、それだけに頼っている住みよい川越はできるはずがありません。活性化し、そしてより活力のある、私たちに誇りが持てる住みやすい環境をつくる必要があります。高齢化社会を迎えるの福祉も考えなければなりません。きわめて盛りだくさんの課題があるわけです。

そういった中で、市民の皆さんのご意見を聞きながら、また専門家の皆さんのご意見を聞きながら、より豊かな、より暮らしやすい、住んでよかったといわれる川越をつくるにはどうしたらいいかということを含め、考えているところです。

よりよい計画づくりのために、いっそうのご協力を心からお願いします。

## 基調講演 ゆとりと豊かさを実感できる平和なまちづくり

### ■総合計画の役割

総合計画の基になっているのは、基本構想というものです。基本構想は地方自治法で決められており、地方自治体が行政を進めていくうえでの基本的な考え方を、議会の議決を得て決めておくものです。いわば地方自治体の行政の憲法みたいなものと言ってもいいと思います。

いろいろな計画はこの基本構想に基づいて決めることになっています。それがあまり抽象的だといかないわけで、最近ではこの自治体も独自に基本構想というものをしっかりと議論するようになっていきます。

以前の自治体の総合計画を見ますと、モノを造るといことが中心になっていて、それをどう運営していくかという問題が落ちている場合が少なくなかったわけです。

特に最近のように経済的に急激な成長がない時代では、投資的な経費と経常的な経費のバランスを考えていかなくてはなりません。市の行政の中でも単にモノを造ったり、給付をしたりという部分だけではなく、全体的な行政を計画の対象にしていかなくてはならないと思います。

そういうものが実は総合計画で、基本構想という市の行政の憲法のようなものを基にして、具体的に毎年毎年の仕事をどう進めていくのかを十年、二十年という長きで考える性格のものだと思います。

### ■これからの時代の特徴

総合計画は長期計画ですから、二十一世紀の新しいまちを考えると、流れを大づかみに読んでおかないといけないということを、みんな切実に

に感じているんですね。

時代潮流は、ハイテク化とか情報化、あるいは金融化、国際化、高齢化というのがキーワードと言われて久しいわけです。最近で言えば、ゆとりとか豊かさ、アメニティ(快適さ)とかエコロジー(生態学)、あるいは成熟したというような見方が時代潮流を表すことになっていきます。前者が二十世紀的であるとすれば、後者は二十一世紀的と対置されています。持続可能な社会という概念とか地球環境などもこれからの潮流で、生活行為の一つ一つが地球環境につながっています。

二十世紀は急激な変化、成長、拡大、発展の時代で、今はそれを見直す時期にきています。急速な変化から緩やかな変化、成長拡大から持続の時代。これをしっかりと踏まえ、二十世紀のキーワードを再検討する中から時代潮流を見ていくことが必要だと思います。いわば現在は二十世紀の最後の急展開の時期であり、それが二十一世紀も続くと思えるのではなく、違う展望を考える必要があると思います。これからの都市づくりというのは、一軒の家に住み続けながら古屋を整備修繕していく時代になっていく気がします。

### ■地域にあつたまちづくり

少し前までは、都市づくりの目標がナショナルミニマム(国民生活の最低基準)の達成でした。国の最低の基準に向かって、住宅はこれだけ必要だとか、緑は公園法では一人当たり五平方メートルと書いてあるとか、そういう基準をいかに達成するかが、都市づくりの目標になっていたと思います。しかし今後は、それぞれの市町村が考えられる豊かさを前提に、計画を作っていく時代だと思っています。全国画一の基準を追いかける発想では

だめです。大まかな地域の目標像を統一して持たないと、うまくいかないわけです。

例えば、日本のまちは、間ナベみたいなものはないか。間ナベというのは、電気を消して、みんなが何を入れたかわからなく作るのが本格的なんです。都市が間ナベというのは、ひとりひとり自分の敷地に建物を建てているようで、実は町並みという大きなナベに一つ一つの材料をほうり込んでいくんです。そこに、お汁粉を作っているつもりでアンコを入れる人と水炊きを作っているつもりで鳥肉を入れる人がいたら、食べられない町並みになってしまいます。

### ■川越のゆぐえ

今、われわれの地区はどういうことをやっているのか、ということとを共有することが、大事ではないかと思えます。

川越市は、非常にまとまりのいい地域だと思います。私は横浜の緑区に住んでいます。横浜は、まとまりがいいように見えますが、横浜に住んでいるという感じはまったくありません。ほとんど東京向けで生活をしています。それに比べればおそらく川越は、「川越をこよなく愛している」と感じられる、一つのまとまりを持っていると思います。その部分がちゃんと全体の計画にうまく位置づけられると、きつといい総合計画になると思います。

住民参加の問題も、ひとりひとりが参加するのではなく、地区としてまとまって総合計画に意見を言い、参加していく。私たちはこの地区をこうつくりたいんだから、総合計画はこうあってほしいというふうに参加が進めば、よりすばらしい総合計画ができるのではないかと思います。



東京都立大学教授 いしだよりふさ 石田頼房さん

東京大学大学院博士課程修了。現在、東京都立大学都市研究所長。農村計画学会会長、地方自治学会理事など、幅広く活躍中。著書に「日本近代都市計画の百年」ほか。





川越市交通安全母の会会長  
すずきよしえ  
鈴木良枝さん

第1次川越市総合計画および後期基本計画審議会委員、社会教育委員として尽力。現在、川越市交通安全母の会会長、川越市公平委員会委員として活躍中。

### 主婦の立場から五つの提言

#### ■高齢社会の福祉のあり方

日本の社会は二十一世紀に高齢化社会を迎えますが、川越市も例外ではありません。私は六年前に、同居していた主人の父親を亡くしましたが、入退院を繰り返していた三年ぐらいいは、家に帰りたいとか、家の庭木を見たいとか、友人に会いたいという言葉を繰り返しておりました。人間だれしも、一時的に病院や施設にお世話になったとしても、自宅で人生の終わりを迎えたいということだと思います。そうなるご家族の負担が大きいだけに介護の体制が問題です。マンパワーの確保も含め、行政の力を活用して在宅介護のネットワークなどの体制をどう整えるかが課題だと思います。

また、青少年の問題も忘れてはいけないと思います。青少年は二十一世紀の川越を支え、高齢者の社会を担う屋台骨です。子どもからお年寄りまでのライフステージにあった豊富なメニューが市にますます求められてきます。今、市内に建設中の総合福祉センターなども含めて、その施策をより総合的に合理的に運営してほしいと思います。

#### ■豊富な人材の活用を

まちづくりを行うのは、まず人です。川越市民は、社会の第一線で活躍し、豊かな知識と経験を持っていきます。この方たちが、やがて、第二の人生を迎えようとしています。この方たちのエネルギーを生かすには、地域コミュニティをどうつくり上げるか、市民参加を地域からどのように実現していくのかを考えていく必要があると思います。

また、地域の人々は心の豊かさを求めて生涯学習センターの設立を要望しています。ここに各界

各層の知識人を含めた人材バンクや子どもたちの指導者を育成する教育センターなどを併設したらよいと思っています。

#### ■観光学科と福祉学科

川越市の唯一の市立高校である川越商業高校に観光学科と福祉学科をつくってはいかがでしょうか。地元の高校で観光学を学んだ生徒たちが、川越の魅力ある、若い人にも喜ばれる観光の指導的立場となり、活躍できたらいいと思います。小江戸川越だからこそ観光学科があってもいいと思うのです。また、地元の高校で福祉学を学んだ生徒たちが総合福祉センターなどで働いたり、他の地域から通う生徒たちも地域に帰って学んだことを実践できたりしたらうれしいことです。正に人がまちをつくるというか、二十一世紀の新しいまちづくりはまず人づくりからだと考えます。

#### ■水と緑の豊かなまちづくり

川越らしさという歴史、自然、水と緑だと思います。喜多院や蔵造りだけでなく、住宅地のさりげない景観や郊外の黄金色に広がる田園風景など、長い川越の歴史の中で培われたものではないでしょうか。歴史を大事にすることは、身近な景観や風景を守り、市民ひとりひとりが具体的に努力していくことだと思います。

今、川越市の市街地の下水道はほぼ一〇〇％整備されているのですが、農村部の下水道は不完全です。十年ぐらい前までは、荒川からくみ上げる用水路に目ザルなどを置くと、ドジョウやフナが取れました。それが、ここ二十年もたたないうちに魚どころか、生活雑排水が流れて悪臭すら漂っています。市街地だけではなく農村部も含めた幅

広いまちづくり、都市計画を強く要望したいと思います。

先日、浦和の別所沼を見してきました。昔から変わりませんが、緑が豊かに生い茂っていて市民がたわむれていました。伊佐沼は、別所沼よりも広大です。これを生かして水と緑を交えた、子どもからお年寄りまでが楽しめる憩いの場につくりあげられたらいいと思います。

#### ■川越の交通問題

川越市の市民意識調査の結果を見ますと、交通網の整備の指摘が一番多いようで、市内の交通渋滞は深刻です。渋滞の要因を短くまとめますと、四項目あります。主要交差点における右折帯が未整備のため右折車両による直進車のブロック、片側一車線のバスの運行本数が多いこと、徒歩の観光客の車道側へのみ出しと乱横断によるもの、もう一つは駐車場が少ないための大型店舗の駐車場待ち。渋滞を解消して快適な交通網の整備をするには都市計画の見直しをしなければなりません。バス路線の充実も問題にしたいと思います。ある奥さんが、都心へ三十キロの川越に永住の地を求めて来ました。都心へ通うご主人は、朝はバスでは時間どおりに駅に着かないし、車で送って行っても渋滞です。

札の辻から川越駅まで四十分かかったと聞きました。道路を広くすれば、単なる通過道路になってしまいます。川越の真ん中の道路を広くしてしまえば、観光価値をなくします。通過道路は通過道路としてまた別に造るのがよいと思います。私は、古くからのものを大切にしながら、そこに新しい機能を持たせていくのが、まちづくりの基本と考えます。

## 地域の助け合いシステムづくりを進めていくことが大切です

#### ■福祉のまちづくりの法律ができた

高齢化問題のある側面というのは、なかなかわからないところで進んでいて、要介護老人や痴ほう性老人が増えているということがあります。溺死の統計があつて、以前は子どもや幼児が夏に亡くなるというのが、統計的に多かったです。最近では、それがひっくり返ってきて、冬に風呂場でおぼれるお年寄りが増えています。要介護老人、痴ほう性老人、その他何らかの形でハンディキャップを持たされた人々にとって、地域社会の中で非常に困難な状況が、少しずつ忍び寄ってきていると思います。

高齢者とか障害者、ハンディキャップを持たされた人々にとって、戦後の日本のまちづくりはまちがっていた面があるのではないかと、われわれがつくってきたまちは、道路や公共施設に段差があるとか、階段だらけのまちとか、エレベーターやエスカレーターがない駅とか、歩行が不自由な人に対して外に出られない構造に造ってきてしまった歴史があると思います。

こうした状態に対して、阻害されていた人たちが生活圏拡大運動というのを一九七〇年に起こしました。仙台のことなんです、これがいわゆる福祉のまちづくりの最初の動きでした。

その後、福祉のまちづくり、あるいは身体障害者、心身障害者、高齢者のためのまちづくりといういろいろな運動をしてきて、一九九四年、実は今年の六月、やっと日本の国が福祉のまちづくりの法律を作ってくれました。「高齢者、障害者の特定建築物を利用する際における利用を促進する法律」です。都道府県知事が、ある基準で公共施設、特定建築物に対して使いやすくするための指

導助言ができる。その特定建築物を造る特定建築主はそういう配慮の設計をすることができ。この福祉のまちづくりだけでも二十数年かかっていますが、まちづくりから見ればナショナルミニマムでしかないわけです。

#### ■安心して歩けるまちづくり

民主主義というのは、あらゆる人々のためのまちづくりでなくてはなりません。本来の民主主義のまちづくりのほんとうのあり方だと思います。今は特殊に思われている段差の解消とかスロープの問題とか、お年を召したときに普通に外に出て歩ける地域社会づくりがやっと緒についた感じがします。このことが実はたいへん重要なことで、地域社会の中でできるだけ健やかに、けがもしないでゆくりり老いていくシステムづくりというのが大事です。

そうした意味の福祉のまちづくり条例を作った、新しく点検することが必要ではないでしょうか。それは、観光で来てまちを歩き、川越のよきを知っていたくということにもつながるし、特に高齢者の方は朝晩の散歩が生活のうえで大事なことです。散歩道がたくさんあるということが、健康のためには大事なんです。安心して歩ける、あるいは地域社会で健やかに生きていけるまちづくり、新しい条例化ということをやるべきではないかと思っています。

#### ■地域社会の資源を見直す

要介護老人とか痴ほう性老人の問題としては、これまでは福祉施設とか病院への入院ということがありました。今、全国的には老人保健福祉計画というものに取り組まれていて、一定の強制的

計画としての行政計画が作られました。これらを見ると、急増する要介護老人に対する施設計画としては必ずしも十分ではないですね。実際の中身は、お年寄りの介護の場は今までは病院が多かったわけですが、老人保健施設と特別養護老人ホームで対応するという計画なんです。

老人保健センターや特別養護老人ホームで対応していくことも大事だと思いますが、さらにこれからは自分の家で介護ができるシステムをどうやってつくるかということが非常に大切な課題になるかと思っています。老人保健施設を拠点にした地域福祉のシステムをどうつくるか、地域ケアのシステムをどうつくるかということです。

これからは住宅の造り方がとても大事になってくると思います。住宅がきちつと造ってあれば、自宅での介護やケアがたいへんスムーズにいく可能性があります。と同時に、これからは地域での助け合いのシステムをつくっていくかなければいけないと思います。その中で、地域社会の資源の見直しをもう少しやるべきじゃないかというのが私の考えなんです。例えば、一つとして公衆浴場の入浴介助サービスをやっていきます。デイセンター、その他の特別な施設を造るということではなく、地域にあるそういうすばらしいシステムを生かしていく。お風呂屋さんに寝たきりの方を連れて行って入れてあげることができるといいです。非常に身近な地域施設でそういうことがやれることがとても大事だと思います。あくまでもその地域で生きていくためのシステムの一つとして、そういうことが考えられます。また、元気なお年寄りが地域のセンターに集まってきて、それが自主的に運営できるようなシステムが、大事になると思います。

筑波技術短期大学教授  
はぎたあきお  
萩田秋雄さん



東北大学大学院博士課程修了。埼玉県におけるシニア住宅供給検討調整委員会座長、国および地方自治体の審議会、委員等で活躍中。著書に「バリアフリーの生活環境」ほか。





江戸川大学専任講師  
めぐみ さゆり  
恵小百合さん

東京大学大学院博士課程修了。埼玉県西部地域産業文化センター基本構想検討委員会、埼玉県都市景観審議会等の委員として活躍中。著書に「まちづくりの心」ほか。

# 市民が成熟したコミュニティが話し合いの第一歩

## ■欠かせない多様性と共生の知恵

いろいろな市民が、川越に住んでおられます。昔から住んでいる人もあれば、つい最近引っ越しをして来た人まで。また、朝が苦手な人もいれば、夜が明けたらさっさと散歩に出てまちをお歩きになる方もいらつしやるように、生活スタイルそのものに多様な人がいるわけです。

地球上に住んでいる生き物たちも多様です。多様でありながら、いっしょに住むことができる知恵があって初めてうまくやっていくことができます。つまり、地域でのコミュニティづくりに欠かせない多様性と共生のための知恵、地域の人材、歴史、自然、資源を賢く使う知恵というものが、これからの課題になると思います。

東武東上線の上福岡駅の次に「ふじみ野」という駅が出来ました。そこから五、六分の所に大井町が土地区画整理事業をした所があります。そこにマンションとショッピングモールが出来ました。

ここは、事業に着手してから完成までの期間が、計画段階から十年近くと短かったわけですが、職員の方が、地権者を十人前後の組に分け何度も合会の機会を設けました。そこで、計画の内容や皆さんの財産はこうなるとか、商売を続けたいかとか、非常にきめ細かい話し合いをしました。そのため、早く事業にみんなが賛成してくれました。その結果、借入金の返却期間を短くして金利分で公園を広く取る。あるいは、みんなが少しずつ出した保留地を集めて売り払ったお金で事業を展開するときに、いっしょにまちづくりをする業者も話し合いに入ってプラン全体を考える一部業務代行という手法を取り入れるなど、いろんな費用を浮かせて期間を短くしたというケースを聞いています。

大事だったのは、話し合いが進められたとき、情報の出し方によって、デマとかウワサとか一方的な悪意の入り込むスキがなかったということ。こんな計画が持ち上がっていることを市はどうして今まで隠していたのかというような、全体像の見えない情報の出し方ではなく、ある程度話が持ち上がったなら、まだ決まっていなくても、どう動くかがあるという情報の出し方が、成功に結びついたケースとして紹介できると思います。

## ■市民が成熟して情報を受け止める

地域での市民参加とかコミュニティのあり方は、同じレベルでみんなが欲しいと思った情報がタイミングよく出されることで、まとまっていくと思います。

市民参加がごちない地域というのは、行政の中で都合形成がごちなくて、いつまでも外に情報が出せないということがあります。

こう言うと、ここの地価が上がるとか、反対運動が起きるといって、行政としては議員さんにも出すのをやめようとか、市の部長会議の中でもあそここの部長に諮ったら反対されるんじゃないかとか、いろいろ内部の事情もあって、話し合いの途中が全部抜けてポンと結果が出るということが、わりと多いわけです。

地域においては、参加しやすい情報をできるだけ行政側が出せるように、市民が成熟して大人であることが大切です。情報を出したときに市民が幼稚だったら、誤解ばかりして腹を立ててしまうわけです。市民が成熟した地域では、情報に対して自分の経験からいい知恵を出そうという第一歩が進んでいくのではないかと思います。

そういう意味では、参加する側にも責任があつ

# 市民が参加して、市民が読める総合計画を

## ■歩いて楽しい城下町の魅力

大きく川越のまちを考えた場合、三つの地区があると思います。一つは旧城下町の市街地、二つめは霞ヶ関や高階、これから南古谷がそうなると思われ、人口の急増地域。三つめは、山田、芳野、大東、福原、名細という旧農村部。

まず、旧市街地が川越市の顔なわけです。城下町であるために丁字の道路やジグザグの道路など、車時代に対応できない道路がたくさんあります。車に対応したまちをつくれればそれで済むかとなると、車というのはわがままな交通機関ですから、道路を造っても駐車場を造っても実際に追いつかないと思います。道路を広げて駐車場を造った分だけ城下町が壊れていく。城下町の魅力は、歩いて楽しいヒューマンスケールのまちだと思っています。

歩けるまち、自転車で行けるまちというものをしっかりとつくりあげることが大事で、それが確立していれば、たぶん車で行く人も楽しいまちになるんじゃないでしょうか。市民が自転車を利用したいというならば、自転車を利用できるまちに逆に切り替えるべきではないかと思っています。

では、それがどうしたら川越市でできるか。国道16号の脇田新町交差点から延びてくる道路が254号につながり、川越で初めての環状道路が平成九年から十年ごろに出来るといわれています。それを見越して、例えば本川越から一番街に抜ける通りの一方通行。実は、電柱の地中化のときに一方通行をやっていますが、やはり一方通行をどうするか非常に重要ではないかと思っています。

## ■住む人も訪れる人も満足できるまち

自転車と歩行者という以上は、安くて定時運行

て、行政で内部判断が遅れる地域は、市民が幼い地域で起こりがちです。コミュニティの中でも旧態依然とした自治会活動の上意下達の方式ばかりだと、二十世紀的枠組みのまちづくりになってしまいます。二十一世紀的枠組みというのは、ゆとりとか豊かさのほかに、話し合いの方法を知恵として持つこと。エゴイスティックなコミュニティの感覚ではなく、自分の地域がどういう位置づけにあるのか、川越市は首都圏の中でどういう位置づけにあるのかという、総合的な地域の存在意義をきちっと持っている必要があると思います。

そうでないと、最終的には判断を誤ることになってしまふし、みんなの時間と費用がむだになってしまふと思います。

## ■景観は地域の文化の表れ

景観は、権利の主張の結果として表れています。景観というのは地域の文化の表れです。まちの外から見える様子というのが、実は住んでいる人たちの暮らし方とか気持ちの表れなわけです。そこに、まちの心意気としての歴史的な価値と文化をよその人にも伝えようとする意思が、訪れた人々に伝わるわけです。そのよきで観光客は、何度も行きたいと思います。

一度行ってあきらめられる観光地は、一度来たお客さんからお金を取ろうとするので引き作戦になってしまふ。二度も三度も来てもらえないまちというのは、そういうよけいなことをしないで、ありのままに住んでいる姿を観光客が見て、普通の人は無理をしないで済むわけです。そういうまちにするために地域で何を考えたらいいかが話し合いやすいコミュニティをつくるのが、まちづくりへの市民参加の第一歩だと思います。

ができて頻繁に動いているバスなど、公共交通機関の運行を円らなくはないわけではないわけです。例えば、観光客用に川越駅から喜多院、博物館へ行つて一番街を通って川越へ戻ってくるようなシャトルバスを動かす。市民も自由に通勤や買い物、病院通いに使える。今のような運行体系ではなく、川越のまちをうまくネットワークできるシャトルバスを動かすことができると思います。

それから、私とJC（青年会議所）で検討したのがパーク&バスライド方式。市街地に入る場合には外側に駐車場を造って、市街地のはんびり歩いてもらう。あるいはシャトルバスなどで市街地に入ってもらう。一番の目的は、市街地で生活している人たち、そこを訪れる人たちが満足できるまちは、どうしたらつくれるかということ。

どこにも交通対策課というのがありますが、対策というのは後追いなんです。交通政策課がなければいけない。そうしないと、いつも対策ばかりに追われて終わってしまふ。日本においては、せうやくせうという動きが出てきた段階ですから、ぜひ取り組んでもらいたいと思います。

## ■地域の一体性を考えた土地利用計画

一転して周辺地域のことを考えてみます。かつては農村地域で、今も自然豊かな地域です。その地域においては、道路が川越の中心地区に向かっている関係で、地域が幹線道路で引き裂かれていくわけです。そうすると、地域のまとまりをどう図るか。その地域の中で横に動こうとすると、大きな幹線道路が何本もあってなかなか結びつかない状況になってしまったわけです。そうすると昔の村といった単位はもう必要ないのか、高齢者の問題で都市型農業をどうするのかと、今はやり

の市民農園を抜本的にやるならば、農村地域をうまく維持できるのかどうかということも考えていかなければいけない問題ではないかと思っています。人口がどんどん増えて、昔ながらの道路体系を残している地域はどうか。人口急増地区には一つのサブ拠点を造って、地域としての一体性を作り上げていかなければいけないか。そんなことを考えながら全体の土地利用計画ができたらいと思っています。

## ■市民団体のネットワーク

雑木林については、最近市が一生懸命取り組むようになりましたが、実態は、鉄条網が張ってあってゴミが捨ててあるだけです。それでは雑木林というのは守れません。雑木林を持つ農家の人たちは、遺産相続でどんどん手放していき、かつての利用の方法もありますが、現在は新緑や紅葉などが楽しめる市民の森とか都市林という考えで雑木林を使うこともできます。農家と市が話し合っ

て、市民の利用を考えていければと思います。今、川越の中にいろいろな市民団体があります。環境問題についてはよく集まって、新河岸川なども川に沿った各自自治体が連携して美しくしています。それをもう一歩広げて、百以上もある市民団体が集まって、情報交換をするネットワークづくりをやると大きな力になるんじゃないか。あとは自分たちの地域の課題は何かを話し合っ、地域ごとに振興計画を自分たちで作っていく。次に、市全体との調整を、市と各地区が話し合う。そんなことから今度の総合計画は、時間はかかるけれども市民が参加して、市民が読めるような、市民にわかる総合計画を作っていたらという、私の希望です。

立教大学教授  
みぞお よしたか  
溝尾良隆さん



東京教育大学卒。現在、川越市観光市街地形成事業デザイン指導委員長、川越市都市景観審議会委員等。著書に「観光事業と経営」ほか。



# 土地の有効利用を促進するための税制です

## 特別土地保有税

特別土地保有税は、昭和四十八年、土地の有効利用の促進などを目的とする政策的な税制として誕生。取得（売買・贈与・交換など）した土地を基準日において有効に利用していないと課税されるとい

年一月一日現在の所有者（市街化調整区域では、保有期間が十年を超える土地を除く）②土地の取得に対して課するもの③昭和四十八年七月一日以降に取得した土地の取得者

方メートル）に満たない場合徴収の方法：申告納付。①五月末日まで②一月一日前一年以内の取得は二月末日まで、七月一日前一年以内の取得は八月末日まで

### 小規模土地に対する特別土地保有税

課税標準：土地の取得価格（売買価格など）  
税率：①一・四パーセント②三・〇パーセント

通称「ミニ保有税」といわれます。市街化区域内で、昭和五十七年四月一日から平成五年十二月三十一日までの間に取得した土地のうち、一団の土地の面積が三百三十平方メートル（昭和六十三年三月三十一日以前は、五百平方メートル）以上のものは、取得した日から起算して二年を経過した翌年から十年度分に限り課税されます。※平成六年一月一日以降に取得した土地について、ミニ保有税の申告は不要となりました。

したがって、所有者本人は、有効に利用していると思っても、それだけでは免除になりません。税法上の条件を満たしている場合に限り免除となりますので、ご注意ください。

### 特別土地保有税の概要

目的：土地の投機的取り引きの抑制と有効利用の促進

納税義務者：①土地の保有者に対し課するもの②昭和四十四年一月一日以降に取得した土地の毎

免税点：①一月一日に所有する土地の合計面積が千平方メートル（昭和六十年以前に取得した土地は、その合計面積が五千平方メートル）に満たない場合②一月一日または七月一日前一年以内に取得した土地の合計面積が千平方メートル（平成三年三月三十一日以前に取得した土地は、その合計面積が五千平方

届け出先  
▼登記済みの家屋：浦和地方法務局川越支局（豊田本二七七―三六43―3824）  
▼未登記家屋：市役所資産課課  
問い合わせ：資産課課係内  
線24500

# 家屋を取り壊したら忘れずに、お早めに届け出先

新築した場合や老朽化などで家屋を取り壊した場合は、必ず年内中に届けを出してください。

家屋の固定資産税は、一月一日に所有する建物にかかります。今年の一月二日以降に取り壊した建物には、年内に取り壊しの届

けがあれば、来年から固定資産税がかかりません。  
特に未登記家屋の取り壊しは、所有者からの届け出がないとわからない場合がありますので、該当される方は、忘れずに届け出をお願いします。

問い合わせ：資産課課係内  
線24500

# 向学心のある人、頑張ってください

## 修学資金と就学支度資金の貸し付け

母子家庭のお子さんに修学資金（授業料の一部）と就学支度資金（入学準備金）を無利子でお貸しします。

資金貸し付けは、学校の進学指導などで受験校を決定した段階で申請を行い、貸し付けの本決定と入金後、進学先が決まり、合格通知書を出した後にあります。

貸付限度額、償還期間、については下表をご覧ください。

提出書類：①貸付申請書②借受資格証明書③戸籍謄本④印鑑証明

書⑤所得証明書⑥合格通知書⑦借用書⑧⑦は、合格決定後に提出⑧受験校別表（合格決定前に申請する方）  
※①②⑦の用紙を福祉課で受け取り、保証人欄等の必要事項を記入のうえ、提出してください。  
申込期間：修学資金は随時、就学支度資金は来年三月三十一日（金）まで  
※小・中学校就学支度資金は、所得税非課税世帯に限り利用できません。  
問い合わせ：福祉課児童福祉係  
内線24100

区分	貸付限度額		据え置き期間	償還期間
	公立	私立		
修学資金	高校	月13,000円	卒業後6ヵ月	貸付期間の2~3倍
	大学	月25,000円		
	専修学校	月35,000円		
	高等専門学校	月44,000円		
就学支度資金	小学校	37,700円	卒業後6ヵ月	5年以内
	中学校	43,800円		
	高校	70,000円		
	私立	220,000円		
	大学	360,000円		

貸付限度額・償還期間

# 新しい保険証は届きましたか

## 国民健康保険に加入している世帯に新しい保険証（国民健康保険被保険者証）若竹色または銀鼠色を郵送しました。届きましたら記述内容に誤りがないか確かめてください。十一月一日からは新保険証で受診してください。旧保険証（黄色またはサーモン色）は使えなくなります。

国民健康保険に加入し、①②の要件を備えている方は、家族の加入する会社等の健康保険の被扶養者に認定される場合があります。詳しくは勤務先の保険担当者にご相談ください。会社等の健康保険では、被扶養者が増えなくても月々支払う保険料が増額になることはありません。

会社等の健康保険の被扶養者になったときは、国民健康保険の喪失手続きをしてください。

国民健康保険に加入している世帯に新しい保険証（国民健康保険被保険者証）若竹色または銀鼠色を郵送しました。届きましたら記述内容に誤りがないか確かめてください。十一月一日からは新保険証で受診してください。旧保険証（黄色またはサーモン色）は使えなくなります。

国民健康保険に加入者の年収：六十歳未満の方：年収百三十万円未満、六十歳以上または身体に障害のある方：年収百八十万円未満  
※この認定要件は、税金や扶養手当などの認定基準とは異なります。  
問い合わせ：保険課係内  
内線24607

### 同和教育シリーズ

## 人間の誇りうるとき①

差別とは

このシリーズは、平成六年二月、市が長野県同和教育推進協議会顧問中山英一さんを招いて行った同和教育講演会の要旨を同和対策課でまとめたものです。

### はじめに

皆さん、こんにちは。ただいま過分のご紹介をいただきました中山英一と申します。よろしくお願いたします。

初めに、お集まりいただきありがとうございます。皆様にお礼を申し上げます。皆様におかれましては、人間の尊厳を守るために日夜ご活動されておりますことに対し、まず敬意を表するしだいでありませぬ。あわせて、国民的課題であるところの同和教育、すなわち部落問題の解決につきまして、とりわけ同和教育の推進のために、さらには部落解放運動の前進のためにたいへん心を砕いていただき、かつまたご尽力を賜っておりますことに対し、心から深く厚くお礼を申し上げます。

皆さん、こんにちは。ただいま過分のご紹介をいただきました中山英一と申します。よろしくお願いたします。

本論に入ります前に二、三ご了解を得たいことがあります。その一つは、私はたいへんことばが乱暴です。したがってこれからは失礼にあたり、ご迷惑に陥ったり、お聞き苦しいことがたくさん出てくるかと思っております。二つ目、これもことばに関係のあることですが、私は「ひ」と「し」の発音が明確に区別できません。みんな「し」になつてしまっています。「おしさまがし」の空に上がった「ひ」といってしまっていて、「ひ」という発音がうまく出ません。ゆっくりというか気をつけて言えば言えないわけではありませぬが、ご承知のとおり、ことばというのは小さい時に覚え、習い、使ってきた習慣は、成人してからの少しくらいの心がけや努力では容易に改まりませぬ。

(つづく)

# 環境にやさしい喜び方⑧

環境保全課管理係内線26011

## クルマが空気を汚す！「自動車公害」

大気汚染の大きな原因になるNOx（窒素酸化物）は、物が高温で燃えるときに発生する物質で、クルマや工場などの排気ガスに多く含まれます。さて、それでは問題です。

問題 NOx汚染の原因の中でクルマの占める割合は？  
a 二分の一  
b 三分の一  
c 四分の一

バスを利用すると、バス一台で八十台のクルマが減らせます。  
■急発進・急加速はしない  
急発進十回でガソリン一二〇ccが無駄になり、その分よけいにNOxを出します。  
■駐車中はエンジンを止める  
アイドリング十分間で一四〇ccのガソリンを使い、その間NOxを出し続けます。  
■渋滞を招く路上駐車をやめる  
ノロノロ運転はNOxの排出量を増加させます。

クルマは、私たちの生活に欠かせない大切なパートナーです。自動車公害を減らすため、皆さんの協力をお願いします。  
正解 a 二分の一





# 入院時の食事代本人負担金等の助成

乳幼児・重度心身障害者・ひとり親家庭等の医療費支給制度の改正  
 十月一日から健康保険法等の一部が改正され、入院患者の食事代本人負担制度の創設と、医師の指示に基づく訪問看護サービスの利用対象がこれまでの老人保健受給者から難病患者等への拡大が行われました。これに伴い、乳幼児・重度心身障害者・ひとり親家庭等の医療費受給者が支払う入院中の食事代本人負担金と、訪問看護サービスの利用料(本人負担分)が、助成の対象に加まりました。申請は、従来の医療費申請と同じ方法で申請してください。

問い合わせ：乳幼児・重度心身障害者医療費支給制度Ⅱ保険課 医療係 ☎内線2464▼ひとり親家庭等の医療費支給制度Ⅱ福祉課 児童福祉係 ☎内線2520

# 収納代理金融機関指定解除のお知らせ

平成六年十一月二十一日付けで埼玉県信用農業協同組合連合会川越支店(新宿町一―一―一六)は、川越市収納代理金融機関の指定が解除になります。以後、市税等の取り扱いができません。

問い合わせ：会計課出納係 ☎内線 3022

# 関越自動車道夜間通行止め

圏央道と関越自動車道をつなぐ鶴ヶ島ジャンクション工事に伴う橋りょう架設工事のため、関越自動車道が次のとおり通行止めになります。

通行止め区間：関越自動車道川越IC―鶴ヶ島IC間(上下線)  
 延長約八・四キロメートル  
 日時：十一月二十八日(月)、午後八時―二十九日(火)、午前六時(天候が著しく不良な場合は、翌日に変更します)

問い合わせ：日本道路公団東京第二建設局川越工事事務所鶴ヶ島工事区 ☎331-3001

# 農業ふれあいセンターまつり '94

11月27日(日)、午前10時～午後4時  
 農業ふれあいセンター ☎26-6551

楽しい催しがいっぱいのお祭り。ふかしたてのサツマイモ、新米の炊き込みご飯、けんちん汁、ハーブの苗や種の無料配布もあります。ご家族そろってお出かけください。

- 伊佐沼青空市  
白菜、大根、ゴボウ、ネギ、里芋など新鮮な冬野菜が盛りだくさん。(売り切れしだい終了)
- 模擬店  
焼きそば、みそおでん、たいやき、ハーブ喫茶、綿アメなど。
- フリーマーケット
- 手打ちうどん実演販売
- ワラ細工の実演と体験
- カラオケ発表会(飛び入り可)  
時間…午後1時30分～午後4時
- ハーブ作品展「ハーブと暮らし一日」
- 鴨田ふれあい農園野菜品評会

「和紙にたくす」はり絵原画展  
 11月15日(火)～30日(火)、午前9時～午後9時(月曜日休館、日曜日は午後5時まで)



# C型肝炎

## その感染・症状・治療

〈肝炎の種類〉  
 ビール型肝炎には、A型、B型、C型の三つがあります。A型肝炎は急性肝炎で、慢性化することはありません。B型、C型肝炎は慢性化し、特にC型肝炎は肝硬変、肝がんに移行する率が高く問題です。

〈感染の経路〉  
 C型肝炎ウイルスの感染経路は、血液を介するもので、輸血や血液製剤の輸注、透析、医療従事者の注射針事故、薬物乱用者の不潔な注射器の使用、入れ墨、もしくは鍼などの療法が考えられ、母子感染、性交感染の可能性も指摘されています。

〈症状〉  
 C型肝炎は、感染後二〜十四週の潜伏期間の後に、黄疸、全身けん怠感、食欲不振、悪心おう吐などの症状を起します。C型肝炎に特有なものはありません。一過性の急性肝炎で終わることなく、八〇〜九〇％は慢性肝炎に移行します。

C型肝炎の症状も特徴的なものではなく、全身けん怠感、食欲不振など不定の訴えですが、患者さんも自覚症状が現れて受診することはまれで、検診、献血などほかの病気の診断のための検査でたまたま発見されることが多いのです。診断は血液の抗体検査によって確定します。抗体の陽性化には感染後三〜五日、発病後三ヶ月の期間が必要とされています。

〈治療法〉  
 C型肝炎の活動期のものについてはインターフェロン治療が行われます。活動期かどうかは針や腹腔鏡を用いて肝臓の組織を採取し、病理学的に検査することで判定します。

C型肝炎がどれほどの期間で肝硬変、肝がんに移行するかは明らかではありませんが、ゆっくり、確実に進行することがわかってきます。B型肝炎肝炎のように自然治癒はないと考えられています。

C型肝炎と判明した場合には十分な経過観察が必要で、抗ウイルス療法を失うことのないようにすることが大切です。犬竹病院・犬竹庸二先生から原稿をいただきました。

今月は、固定資産税・都市計画税、償却資産税の第3期と国民健康保険税の第4期の納期です。忘れずに納めましょう。

# 安心の暮らしの中心 火の用心

一年のうちで最も火災の発生件数が多い十一月から三月を前に、今年も十一月九日から十五日まで、秋の全国火災予防運動が行われます。財産や生命を奪うこともある恐ろしい災害は、未然に防ぐことが大切です。暮らしの中心に「火の用心」を忘れずに。

\*写真は平成六年六月に完成した川越西消防署新庁舎。

## サイレンを鳴らします

消防特別点検のため、十一月二十七日(日)午前六時に市内の消防署などで一斉にサイレンを鳴らします。ご承知おきください。

〈サイレンの鳴らし方〉  
 鳴る(15秒) ↓ 休む(6秒) { 三回繰り返す

# 川越地区消防組合



## 秋の全国火災予防運動 11月9日(水)～15日(火)

### 川越地区消防組合 ☎22-0700



# 先人のあゆみ 7

安部立郎 (一八八六—一九二四)

旧制中学の学生時代から図書館建設運動に没頭し、現在の市立図書館の礎を築いた安部立郎。また、彼は川越の市制施行の推進者の一人としても活躍。第一回の市議会議員選挙で当選し政界進出を果たしながらも、任期半ばの三十九歳で病死しました。

立郎は、明治十九年に漢方医・安部大蔵の五男として生まれ、明治三十二年に川越中学（現在の川越高校）に第一回生として入学しました。

早稲田大学の学生になった明治三十六年、同中学の在校生を中心に「同志会」を創立し、図書収集と雑誌の編集に力を入れました。討論会、講演会なども開催した同会は、いつも先に立って何かをやる会として人々の注目を浴びました。



川越中学の初代校長の「温和で、鮮明な主義主張と生徒の自主性を

重んじる」教育方針を深く敬愛していた立郎。また、彼は後輩の面倒をよく見ていたので、その人間性にひかれた若き中学生から絶対的崇拜の対象となっていました。

彼の指導した「同志会」は、最盛期に会員数百二十人を集めました。後に彼らは、川越の政治、経済、医療などの分野の指導者として活躍しています。

この会の活動のために立郎が持ち寄った図書を中心として設立した「同志会図書館」。明治四十二年には、千六百冊の蔵書を有するまでになりました。大正四年、利用者の増大にこたえるため、二千三百円の寄付金を集めた立郎は、床面積四十二坪の洋風建築の「私立川越図書館」に発展させました。さらに、大正七年には、県知事の認可を経て、「私立川越図書館」を母体として「町立川越図書館」を発足させました。初代の館長は菅野政五郎、司書には立郎が就任しました。

彼は、忙しい日々の合間を縫って、郷土資料の発掘、研究にも尽力しました。当時の川越地方の地誌を知るうえで欠かすことのできない「入間郡誌」を著したり、「川越年代記」「三芳野名勝図会」

「川越素題」に校訂を加え「川越叢書」として復刻刊行しました。大正期に入ると、川越町政のあり方に強い関心を示した立郎。彼は、川越における有力な地方紙として「武蔵新報」が創刊されると、この紙上でしばしば論陣を張りま

した。また、市制施行が具体的な問題として浮上すると「川越市の建設は、全国の他市の事情と異なり将来の繁栄のための出発点であり、目的は市制ではない」と論評。その実現のため、世論の喚起に努めました。

市制施行後の第一回の市会議員選挙で、「同志会」を母体とした「公会会」という政治団体に推されてみごと当選。しかし、議員生活一年目を迎えたばかりの大正十三年、過労がもとで急死しました。川越中学の当時の同窓会長は弔辞の中で「彼の将来に大いに期待していたので、その死の社会的損失は計り知れません」と彼の短すぎた生涯を悼みました。

「先人のあゆみ7」は、「川越の人物誌」（川越市教育委員会発行）「川越市史」「川越高校八十年記念誌」を参考にして、広報課でまとめたものです。

# いきいきシルバー

## 世代を越えて楽しむ

初雁公園のプールわきで数月に開催されるリサイクル・バザー。この名物おばあちゃんとしてすっかりおなじみとなっている大江徳代さん（69歳・野田町二）。



「リサイクルを楽しむ会」（代表・城谷順子さん）の催しに初めて参加したのは昨年の六月。散歩中にふと立ち寄ったリサイクル・バザーで、「この靴を買わない」と声をかけられたのがきっかけです。

ふだんからむだを出すことが嫌いな大江さん。スイカの皮やプロコリーのしんもぬか漬けに。また、家の中では少女時代から愛用のトランクや嫁入り道具の家具もいまだ現役。物を大切にする心がしんまで通っています。

山形県から十六歳で上京し、看護婦としておよそ二十五年間勤務。現在は、目が少々不自由なので、商品の運搬は、市内で理髪店を営む妹さんが手伝ってくれています。二十年前に母親を亡くして

以来の独り暮らし。二か月に一度のリサイクル・バザーは、数少ない楽しみの一つになっています。

どの家庭の戸棚やタンスの中で眠っているタオル、衣類、食器類などが、出品する商品です。「自分にとっては不用品でも、必要とする人がいるはず」と持論を披露してくれました。

三本で五十円のオシロリを、五本で五十円に値切られたことを考えていたらだまされません」とりサイクル・バザーを楽しんでいます。世代を越えた、人と人との出会いと交流。これが大江さんをとりこにしているそうです。

国民年金の納付は、簡単で便利な口座振替をご利用ください。詳しくは、国民年金課☎内線2481へ。

# みんなの作文



## ひいおばあちゃんの思い出

新宿小学校四年

山下絵梨香

しわくちやの顔、それでもいつも笑顔で、わたしを見てくれたひいおばあちゃん。耳は遠くなって、聞きにくいのに上手にお話を聞かせてくれたひいおばあちゃん。しわくちやになつた手は、ひっぱると、もともとどらなくなるくらいかたく、何度もさわっているわたしのことを、ニコニコしながら見つめていました。わたしは、そんなひいおばあちゃんが好きでした。

「わたしは、でも最後にひいおばあちゃんに会いに行つた時、「絵梨香。」と、わたしの名前をよんでくれたのです。その時は、とてもうれしかったです。もしかしたら神様が最後にわたしのことを思い出させてくれたのかなって、そんな気がしました。悲しそうに顔をしていたわたしに、お父さんが、

「人は、いつかわかれなければならぬ時が来るけど、その人のことをずっとわすれずにいることが大切なんだよ。そうすればその人だってしあわせなんじゃないかな。」って言ってくれた時、ほんとにそうだなって思いました。わたしはひいおばあちゃんのことをずっとわすれずについていきたいです。きつとわたしの心の中に生きつづけて、いつもわたしのことを、はげましたり、守つたりしてくれるのだと思います。

# 木田の気

ポダイジュ



釈迦が、樹下で悟りをひらいたといわれるポダイジュ。日本の寺院などに多く植えられているのは、中国原産、シナノキ科シナノキ属の落葉高木です。20年ほど前に植えられたという長喜院（幸町）のポダイジュも、その一つ。ちなみに、シューベルトの歌曲で知られる「菩提樹」は、同属のヨウシュポダイジュのことです。ポダイジュの葉は、縁がギザギザしたハートのような形をしています。夏になると、その真ん中から伸びた枝状のものに、芳香ある黄色い花をつけます。その花が散り、実を結ぶと、そろそろ落ち葉の季節が訪れるのです。

# 短歌

紅蓮短歌会

時の鐘見上げるし時飛行船視野に入り来て悠悠と行く  
老並の気の向くままに働いて今日も悔いなき日暮れ迎えぬ  
新緑とせせらぎを眺め露天風呂に心安らぐ湯の小屋の宿  
豊作の稲刈り終えて見上げれば今昔の秋の名月  
小春日のぬくもりに居てふと思ふ遠き昔の父母のこと  
千す梅のやわき果肉が朱に染まり猛暑の一日紫蘇の香匂う  
小雨降るさいはての旅今晴れてはまなす咲く丘尻富士立つ

成田山短歌会

ていねいに書きたる歌稿おのづから行の曲がるを寂しと思ふ  
ペランダに夫の育てるプチトマト朝降る雨に実の光りおり  
一面に雲の覆へる空にして午後となり太陽は白く霞めり  
耐えがたき夏も終わるか庭隅の秋海棠の花低く咲く

長風短歌会川越支部

汝が写真身につけて来し瑞巖寺にのうぜんかずらは立ちのぼり咲く  
木道の掛け換え工事なす人夫わずかな段差削りて揃えぬ  
新しい出会いの訪れたくしを誘う予感に心浮き立つ

木野目	中西美津子
古市場	沢田勇
木野目	高橋タケ
洪井	程島萬喜
古市場	熊井慶子
久下戸	松澤みよ
古市場	沢田久子
通町	三芳キン
西小仙波町二	北村みどり
中原町二	寺田ふみ子
久保町	田中操
東田町	毛利ゆり子
野田町一	橋本京子
上野田町	小林智恵

# もしもしコーナー 68

最近、大きな地震がよく発生していますが、直下型地震には、どのように備えればよいですか。  
A 大きな地震でも大揺れは、約一分間程度。慌てて外に飛び出すと、かわら、ガラス、看板の落下などでかえって危険です。「火を消せ！」とみんなて声がかけあい、すばやく火の始末をし、テーブルや机の下に身を隠して様子を見てください。落ち着いたら、テレビ、ラジオ、市の防災無線から正しい情報を把握し、デマやうわさに惑わされないでください。もし、避難が必要ときは、持ち物を必要最小限にして、徒歩で避難場所へ。

市では、もしもに備えて避難場所の確保、防災無線の整備、食料と生活必需品の備蓄などを進めています。家庭でも避難場所とその経路の確認、非常持ち出し品の準備、役割分担などを決めておく、「防災会議」を開くことが大切です。詳しくは、総務課防災係☎内線2217へ。



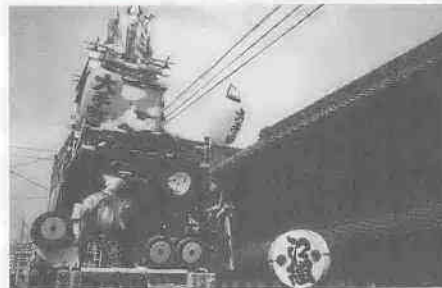
# 川越まつり'94

川越のまちが囃子に包まれ、山車と蔵造りが江戸情緒を醸す川越まつり。初参加の南通町、人形の素戔鳴尊が新調された西小仙波町など17台の山車が引き回され、たくさんの方が祭りを堪能した10月14日・15日の2日間でした。

表通り裏通り



一番街を行く仲町の山車・人形をせり上げて通行できるのも電線がないから



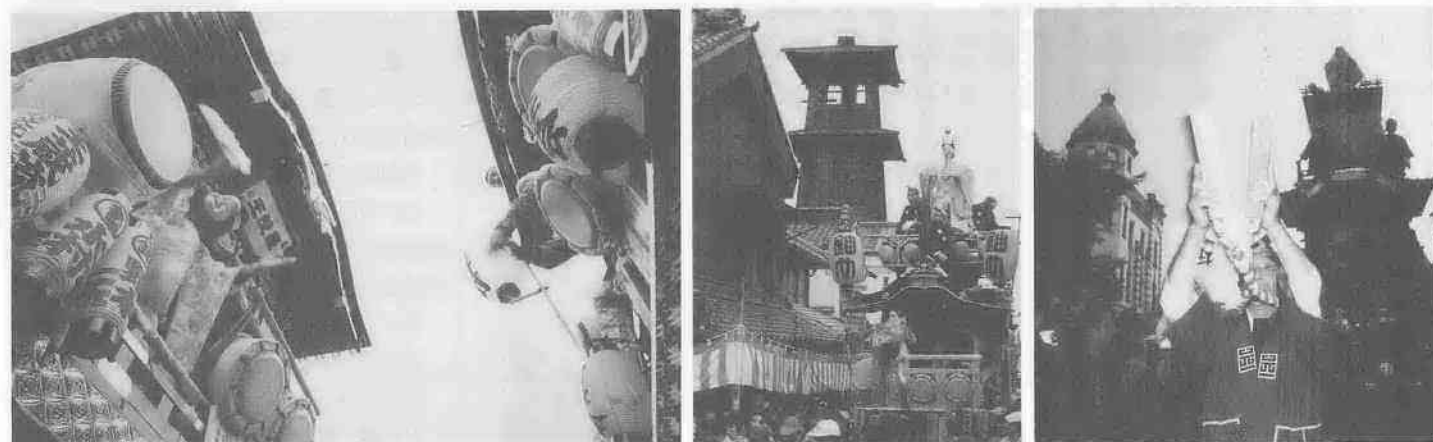
大手町の山車・まとも江戸的です



六軒町の山車・はてんが粋



15日の山車ぞろえ・写真左から元町1、大手町、三久保町、松江町2、松江町1、西小仙波町、通町、南通町



王蔵流(中台)と芝金杉流(今福)の競演

時の鐘前を行く今成の山車

進行の合図・元町1の山車

江戸 川越には重厚な蔵造り、移築された江戸城の遺構、物資の流通や情報伝達のかかり、川越藩の歴史、山車や囃子などさまざまな「江戸」が残っています。その中で最も江戸的なのが「川越まつり」といえるかもしれません。それは、財力のある商人が山車を持ち、技術を持った職人が山車を操作し、囃子を演じる近郷の人が山車に乗ることで成り立つハレの行事です。それは、日ごろからかわりのある三者が、互いに感謝の意を示し、それぞれの役割を果たす様式になっています。昔に比べると変化はありますが、現在も同様に形づくられる川越まつりは「江戸」が「東京」で失った姿を伝えるものかもしれません。

## 波 動

今年の川越まつりは、十七台の山車が参加。いい天気に恵まれ、週末だったこともあり、たくさんの方が訪れました。両日で四十五万人(川越まつり協賛発表)の人数があり、山車の周囲は身動きがとれないほどの混雑。山車とともに動く人の波に祭りは、いっそうの盛り上がりを見せました。宵になり、ちようちんに明かりがともると、昼とは違った祭りの魅力が現われます。そして「ひっかわせ」。いやおうなしに囃子のテンポが高まり、山車の前では町衆が威勢よく競り合いました。そんな中で行われる山車の操作は、職人の腕の見せ所。熱気を感じつつも、山車の影で静かに見守り、流れを仕切る職人の姿には、頼もしさがありました。

はーとふる

## GOAL Jリーグにゴール



ジャパンフットボールリーグ(JFL)最終節NTT関東対柏レイソル戦が十月二十三日(日)、川越運動公園陸上競技場で行われました。黄色の旗がふれるスタンドは、観衆のほとんどがレイソルのサポーターのような状況。ホームゲームにもかかわらずNTT関東にとっては、やりにくかったかもしれせん。しかし、数は少ないながら電光掲示板前に陣取ったNTT関東のサポーターも負けず熱い声援を送っていました。試合は、前半三十四分、左コーナーキックがゴール前でもつれたところをカレカ選手(レイソル)が押し込んで先制。前半にわたって繰り広げられた熱戦は結局、この一点が決勝点になり、レイソルが勝ちました。レイソルにとってJリーグ昇格を意味する勝利の瞬間、グラウンドで抱き合う選手を包むようにスタンドのサポーターから大きな歓声が起りました。チームと地域が力を合わせて作るJリーグ。加盟のお預けから苦しかった一年間を乗り越え、「太陽王」は、来シーズンから新しい戦場へ赴くことになりそうです。

\*レイソルは、スペイン語のレイ(王)とソル(太陽)の造語。

## まちのできごと 109 パレット

川越市の面積は109.18km<sup>2</sup>

### エコロジカルな～さんばく

環境へのやさしさを考える「エコロジカル」をテーマにした今年の川越産業博覧会。市内の商・工・農の取り組みが一堂に見られたほか、リサイクル品の販売、フリーマーケットなども行われました。好天に恵まれた10月22日(土)・23日(日)。特に2日目は、陸上競技場でJFLの試合も行われ、にぎやかな伊佐沼かいわいでした。



### みんなのものですから

意味もない汚い落書きは、とても不快なものです。心ない人が汚した公共物は、きれいにするのも一苦勞。足場を組んで行う作業には、経費がかかりますし、危険も伴います。公共物は、みんなのもの。落書きする人も「みんな」に含まれますが、限られた人が自由にできるものというわけではありません。大切にしてください。



### きれいなまちで暮らしたい

快適な環境づくり、地域の美化を推進するクリーン川越市民運動(ごみゼロ運動)。今年2回目の活動が10月30日(日)、市内各地で行われました。住む人の環境への意識の高さは、快適なまちという形になって表れるもの。休日にもかかわらず参加された皆さん、各団体を積極的に導いてくださった役員さん、お疲れさまでした。



## 旅の空から 102 わたしの旅日記



### 若狭小浜への旅

岸弥生(64歳・石原町1)

5月2日、3日と姉妹都市福井県小浜市に伝わる雲浜獅子舞を主人と見学に出かけました。川越城主酒井忠勝公の若狭の国小浜への国替え(今でいう転勤)に際して、私どもの住む石原で演舞されていた獅子舞の頭を2つ携えて行かれ、かの地で舞われるようになったのが始まりということです。

小浜は、朝鮮半島に近く、大陸からの文化の影響もあったのでしょうか。石原に伝承されている県指定の無形民俗文化財である「石原のささら獅子舞」とは、長い年月の間に少しずつ趣を変えられたのか、異なっているように見受けましたが、優雅典麗の舞でした。川越市役所からも親善の方々が来ておまして、ごいっしょに見学させていただき、私なりに現在の川越市の発展した様子などをご報告いたしました。

古代大陸の名僧たちは、小浜の地から上陸され、若狭路、近江路を通過して京都、奈良へ上ったのでしょうか。小浜は、文化財の多い土地。そのひとつである獅子舞に思いを新たに、これからも両市の獅子舞の永久の継承を願うもの1人でございます。

## イラストコーナー



松本有希子(19歳・今福)



# 和紙にたくして8

つた

文 はり絵  
新井紀子さん  
新井時子さん



雰囲気だけでも味わえはいいのよ  
そう言って何年か前

友達といっしょに出かけた川越まつり。

表通りに面した横町で通り過ぎる山車を見る。

お囃子の音と人の熱気にすっかり酔い

静かな裏通りに抜けると

早くも紅くなり始めたつたの葉が秋の陽に映え

まるでペイントを塗ったように建物の壁面を染めていた。

「写真に撮って！ はり絵にしたいの」

姉が目を輝かせて友達に言う。

いろいろな思いを秘めて季節は過ぎ

自然が最後の命を燃え尽くこととしていた。

落ちて朽ちるまで鮮やかに

人を惹いてくれる自然の強さと優しさ。

私は何も言えず、ただ見つめるだけだった。

## とらとら

編集日記

初冠雪の便りがあちこちから届き、落葉樹もそろそろ冬支度。夏に比べると日照時間が短くなり、戸外の写真撮影には時間制限も加わります。そのため、天気の良い日は職員が取材に出かけて、広報課がひっそりすることもあります▶今年の川越まつりは、晴天だったことも手伝ってか、近年になく多い人出。混雑にまみれて汗だくになりながら写真を撮りました。山車に近づくこともあるので、なるべくうしろで撮影する人の迷惑にならないように気を配ります▶読者の皆さんに少しでも喜んでもらえるように、もっともっと頑張ります。感想などをお聞かせください。

表紙の写真 (市立図書館・三久保町)



## TV

### わが街川越 番組ガイド

38ch テレビ埼玉 毎週火曜日

午後 5 時30分～5 時40分

【再】午後10時15分～10時25分

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



川越西消防署(伊勢原町5)

11.15  
TUESDAY

ごみのダイエット (再)

「ごみ問題」をリサイクルや環境問題などの視点から探ります。番組では、市民から見たごみ事情や、市民のさまざまな取り組みを紹介しながら、「ごみ減量化と市民協力」の重要性について考えます。

11.22  
TUESDAY

安心のために火の用心

暖房器具を使い始め、空気が乾燥する季節を前に、11月2日㈪に行われた川越市庁舎自衛消防訓練の様子、今年6月に開署した川越西消防署などについて紹介。安心して暮らせるようにご家庭でも火の元にご注意ください。

11.29  
TUESDAY

“海”を味わう里 戸田川越荘

市民憩いの保養所として親しまれている戸田川越荘が、昨年4月にリニューアル・オープン。番組では、11月17日・18日に行われるバスツアーに同行し、海と山に囲まれた西伊豆の自然と初冬の味覚をたっぷりお届けします。

